

Weekly Report

2026.04.16

No. 3169

ROTARY CLUB OF MOKA

2025～2026年度 国際ロータリー第2550地区 真岡ロータリークラブ

ID13862 真岡

Rotary



UNITE
FOR
GOOD

よいことのために手を取りあおう

真岡ロータリークラブ 柳田尚宏 会長メッセージ「原点回帰！」

- 本日のプログラム 内部卓話
- 司会 副 SAA 沼田 雄一 君
- 点鐘 会長 柳田 尚宏 君
- ロータリーソング それでこそロータリー
- ゲスト 米山奨学生 ライオウティンさん

■会長挨拶

会長 柳田 尚宏 君

皆さん、こんにちは。本日もお忙しい中、例会にご出席いただき、誠にありがとうございます。今日は米山奨学生のライオウティンさんが来ております。



最初に、最近の報道にある痛ましい事件についてお話したいと思います。正直、胸が締め付けられる思いです。こうした事件が続く中で、なぜこのようなことが起こるのか考えさせられますし、同時に、私たちの身近な地域や人との関わりの大切さを改めて感じています。

ロータリーとして特別なことができるわけではないかもしれませんが、だからこそ、日々の中での声かけや気配りといった当たり前のことを積み重ねていくことが、安心できる地域づくりにつながるのではないかと私は思っています。

また、昨今の物価高騰についても、皆様それぞれの立場で大きな影響を受けていることと思います。正直、厳しいと

感じる場面も多くなってきました。しかし、こういう時代だからこそ、知恵を出し合い、情報を共有し、共に乗り越えていく必要があります。その一つの間がこの例会であると私は考えています。

さて、本日は内部卓話となっております。まず、高波真吾君より、私の考える造園業についてお話をいただきます。造園業は単なる仕事ではなく、地域の景観や心の豊かさにもつながる大切な仕事だと感じています。どのようなお考えをお持ちか楽しみにしております。

続いて、成瀬美奈子さんより、人材派遣と技能実習の違いについてお話をいただきます。人手不足が続く中で避けては通れないテーマであり、我々の事業にも直結する内容だと思います。しっかり学ばせていただきたいと思っております。

本日もこの例会が皆さんにとって意味のある時間となることを願っています。どうぞ最後までよろしく願いいたします。

■米山記念奨学金授与 米山奨学生ライオウティンさん

皆さん、こんにちは。先月大阪に行って参りました。小さい頃大阪に2年住んでいたこともあり大阪と京都へ4日間旅行に行ってきました。

MAKE UP 会場案内

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
宇都宮 90 : 東武ホテルグランデ 小山中央 : 思水荘 真岡西 : フォーシーズン 静風	宇都宮 : 東武ホテルグランデ 宇都宮東 : ホテルニューイタヤ 小山南 : 小山グランドホテル	益子 : 益子カントリー 下野上三川 : 石橋商工会館 小山北 : 和風ダイニング彩華	宇都宮西 : 東武ホテルグランデ 宇都宮北 : ベルビィ宇都宮 小山 : 小山グランドホテル	小山東 : 小山グランドホテル

会長: 柳田 尚宏 幹事: 坂本 光 会報委員: 平石典嗣 中島弘司 市村滋朗 相場一宏

事務局: 〒321-4305 栃木県真岡市荒町 1203 (真岡商工会館内) TEL.0285-84-2511 FAX.0285-84-2510

URL: <http://rc-moka.jp/> E-mail: rc-moka@sweet.ocn.ne.jp

小学校時代の友達と食事に行きました。友達と母と妹の4人で食事を楽しみました。特に驚いたのは、友達の母が私の好き嫌いや子供の頃のエピソードを覚えていて、当時の話や昔の写真を見ながら、楽しい時間を過ごしました。



また、昔住んでいた家を訪問し、京都のお寺や観光地に行きましたが10年以上前なので、変わってしまったという印象を受けました。

■スマイルボックス報告

西村 英人君

柳田 尚宏 君 ライ君いらっしやい。高波さん、成瀬さん卓話宜しくお願い致します。

坂本 光 君 高波会員、成瀬会員卓話楽しみに拝聴させて頂きます。

宇賀神 裕一君 高波さん、成瀬さん卓話楽しみにしています。

金子 正男君 高波・成瀬会員の卓話拝聴致します。先週は誕生日祝いを頂きありがとうございます。

安田 政昭君 高波さん、成瀬さん卓話楽しみにしています。来週白内障の手術をします。とても不安ですがお二人の卓話で元気づけられると思います。勇気をください。

渡邊 佳寛君 成瀬会員、高波会員卓話よろしくお願ひいたします。ライ君ようこそ！

高波 眞吾君 初めての卓話をさせて頂きます。皆様宜しくお願ひ致します。

成瀬 美奈子さん 今日の卓話大変緊張しておりますが頑張ります。皆様宜しくお願ひ致します。

■内部卓話

高波 眞吾君

皆様、こんにちは。株式会社庭幸代表取締役社長の高波眞吾です。よろしくお願ひいたします。これから、私の考える造園についてお話しさせていただきます。

私は昭和50年生まれの50歳です。真岡市で生まれ育ち、中学校を卒業後、作新学院高等学校へ進学しました。高

校卒業後は美容師を志し、宇都宮美容専門学校へ進学し、美容師としての免許を取得しました。



しかし、美容師とし

て働き始めた際に、アレルギーを発症し、その道を断念することとなりました。この時、ちょうど21歳でした。その後、父の影響を受け庭師の道を志すようになりました。叔父の元で修行しました。

長年の下積みを経て、一級造園技能士の資格を取得しました。31歳で独立し、その後法人化しました。これまで培ってきた技術と経験を基に、誠実な庭作りに取り組んでいます。

次に庭師の仕事や思いをお伝え致します。皆様は庭師というと、バカボンのパパのように脚立の上で木を剪定している姿を思い浮かべるかもしれませんが、それだけが庭師の仕事ではありません。庭の景色を整え季節を守り、家の思い出を支える仕事でもあります。庭は趣味であると同時に芸術作品でもあります。そして庭を作ったら終わりではなく、長い年月にわたって手を入れ育てていくことが求められます。

庭師の仕事には、庭の維持が重要であるため、この職業が代々受け継がれてきたという面もあるのかもしれませんが。具体的な造園の仕事内容をお話ししますと、大きく分けて造園、剪定、メンテナンスの作業があります。

紅葉の剪定では、造園を行いながら理想の形に持っていくことが求められます。その作業は、ただ伸びているところを切るだけではありません。

こちらはメンテナンス作業の一例で、お茶室で使用する掛軸の交換や、正月に使う竹の飾り物の作成なども行っています。ここからは、私が手掛けた庭園をいくつかご紹介いたします。

これはお寺の庭園です。各家庭で墓終が進む中、永代供養のお墓をお寺で作し、参拝する方が気持ちよく過ごせるような庭を作りました。お墓に向かう前に流れる川は、生と死を表現しています。上空から見ると「心」の字に形作られています。

こちらは個人の邸宅で、昨年作成した庭です。何も無いところから始まり、竹垣もオリジナルデザインで差別化を図っています。また、草が生い茂る部分は、草取りのためにシ

ートを引いて砂利を使っています。

庭師の仕事は日本の庭という文化を次の世代へ引き継いでいくための重要な役割だと考えています。庭は決して敷居の高いものではなく、もっと身近に感じてもらいたいと思っています。毎年ゴールデンウィークには花と緑に関するイベントを開催し、地域の方々に花や緑の魅力を知っていただけるよう取り組んでいます。

地域活性化にも関わっており門前地域では、ハロウィンイベントの開催や地域の若者たちによる活性化委員会を立ち上げ、その支援にも関わっています。また、地域の情報を発信するためのラジオ放送も行っています。

昨年、ロータリークラブからお誘いをいただいた際、そこに共感し、自分も何か地域や世の中に貢献したいと思い、入会しました。ロータリークラブでの活動を通じて、地域の仲間とのつながりや、異なる職業の方々との交流を通じて、多くの学びを得ています。

以上をもちまして、私の話を終了させていただきます。まだまだ未熟者ではございますが、今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。

■内部卓話

成瀬 美奈子さん

今日は私のために皆様の貴重なお時間をいただき、ありがとうございます

早速ですが、私の経歴と経営する会社の概要及び事業内容についてお



話させていただきます。私は昭和 51 年 7 月 7 日、4 人兄弟の 3 番目として生まれ、現在 49 歳で現在は株式会社ナルカワの代表を務めています。

職歴ですが大学卒業後、平成 11 年に北関東総合警備保障に入社しました。営業部に配属され、研修を終了後、当社初の女性営業担当となりました。営業成績は良好でしたが、精神的に未熟で、人間関係の難しさに悩んでおりました。

その後、入社 2 年半が経過した頃、当時関東資源のオーナーであった私の祖母から、事務員が足りないので手伝ってほしいと言われました。悩んでいたこともあり、転職を考え、平成 13 年に関東資源に入社しました。

当初は一般事務の仕事をしていましたが、平成 14 年に私の一人息子が生まれた頃、祖母が 70 歳を迎えるのを機に

会社経営から退き、会社を売却しました。その際、私は全オーナーの身内であったため退職を考えていました。しかし、社長と初めて面談した際、「新しい仕事が決まっていなから、一緒にやってほしい」と説得され留まることを決めました。そして、営業担当として 11 年間働きました。

人間として成長を遂げ、一人前の営業担当に育ててくださった社長には大変感謝しております。この 11 年間で、人材管理や利益追求などの経営に必要なスキルを身につけることができましたと思います。

今の会社に入る 1 年前、父の健康が悪化したため、母から「後継者にならないか」と言われたとき、正直なところ悩みました。当時、私は営業部長としてやりがいを感じており、役員職も目前に迫っていました。そのため、大きな葛藤を抱えていました。

その時、やはり社長に相談しました。彼は「ご両親を助けてあげなさい。もしダメだったら、いつでも戻ってきなさい」と背中を押してくれました。そこで私は決心し、実家の稼業を引き継ぐことにして、平成 25 年に入社しました。

当時、会社の財務状況はリーマンショックや東日本大震災の影響で立ち直っておらず、債務超過となっていました。

私はまず、黒字転換を目指し、8 拠点あった営業所を配合し最終的に 3 拠点にしました。その後、スタッフの業務効率化を図り、事務所のスタッフ数を 4 分の 1 に減らしました。営業担当には新規開拓よりも利益率を上げるために既存派遣先の契約単価を交渉するよう指示し、時間をかけて取り組んだ結果、経営に携わって 3 年目によく黒字を出すことができました。それから現在に至ります。

ここからは、私が経営する株式会社ナルカワの会社概要と事業内容をお話させていただきます。私たちは、厚生労働省から労働者派遣業と有料職業紹介業の二つの許認可を取得しています。この 2 つの事業内容について、後で詳しく説明いたします。

代表者は二名体制で運営しています。2020 年以降、いわゆるコロナの時期からは、私が会長職を務め、実際の運営は桜井が行っています。私たちの会社は先ほども申し上げた通り、3 拠点で営業しており、本社は真岡市にあります。名古屋市には、愛知県弥富市に名古屋支店を運営しています。こちらに支店を移転した理由は、当時の名古屋市東区の家賃が非常に高かったため、一番大口のお客様がいる愛知県弥富市に移しました。

もう 1 拠点は岡山事業所で、岡山県岡山市に位置しています。

弊社の特徴として、派遣社員のほとんどが外国籍の人材で、日系ブラジル人、日系ペルー人、ベトナム人、フィリピン人など、様々な国からの社員が在籍しています。過去の派遣データによると、外国人材は日本人材に比べて定着率が高く、勤勉で欠勤が少ないという点が好評です。実際には、有期雇用から無期雇用へと変更され、20年以上勤務している社員もいます。近年では、60歳を超えても続けて派遣される方が増えているのが現状です。これは弊社にとっても、外国籍派遣社員にとっても非常にありがたいことです。

次に、事業内容についてお話しします。まず、当社のメイン事業である労働者派遣事業についてですが、これは派遣会社が労働者を雇用し、労働者が派遣先企業で働くというシステムです。業務指示は派遣先企業が行い、雇用主は派遣会社であるため、給与も派遣会社が支払います。派遣先企業にとっては、期間限定で必要な人材を確保できるというメリットがあります。

ここで有料職業紹介事業についての説明です。有料職業紹介事業では、紹介会社が求職者と企業をマッチングし、採用後は企業と直接雇用を結びます。この際、採用された企業が紹介料を支払う仕組みです。正規雇用の即戦力人材の確保を主な目的とすることが多いです。

同じ業界でも、仕事内容によって派遣できる業種とそうでない業種があります。最後になりますが、今日お話しする予定だった技能実習の件についてですが、技能実習制度が2027年に全て廃止されるという情報は多くの方がご

存知かと思しますので、その説明は割愛させていただきます。今後、育成就労ビザに関わる新しい制度について詳しい情報が出てきた場合には、再度お話しさせていただきますと思います。

本日のお時間を通じて、人材派遣について知っていただき、少しでも身近に感じていただければ幸いです。ご清聴、ありがとうございました。

■次回案内

日時:5月7日木曜日 12時30分

場所:真岡商工会議所

内容:月初例会

■スマイルボックス(4月16日現在)

前回までのスマイル繰越金	624,000
会員	588,000
ビジター	36,000
本日のスマイル合計	14,000
スマイル今期累計	638,000
前回までの米山繰越金	15,427
本日の米山	0
米山今期累計	15,427

■月間予定出席者

在籍 48名	出席免除者 1名(有資格者 1名 + 有理由者 名)						
例会日	出席義務	事前 MU	事後 MU	出席者	内免除者	欠席者	出席率(%)
補正後 月 日							
本日 4月16日	47	2		34		11	76.60

■月間出席率(%) ※例会欠席は前日15時までに必ず事務局までお知らせください。(TEL.0285-84-2511, FAX.84-2510)

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
80.68	73.49	65.43	70.59	82.61	73.19	78.72	71.63	68.09	71.63		